

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月18日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス NIJIRO NOBA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	活動内容によって部屋を分けています。	
	2	職員の配置数は適切である	8	1	職員配置の「見える化」を行い対応しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2	階段を上ることが難しい事情がある場合は、適宜エレベーターを個別に案内しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	ホームページにより適切に公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2		放課後等デイサービス評価表の結果に基づく業務改善の取り組みを職員に周知することにより、PDCAのサイクルを活用した業務改善を図っていきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	社内で毎月開催される研修に参加し、加えて不定期にて所内研修も行なっています。	研修に参加できなかった職員に対する伝達をよりきめ細やかにし、資料を配布して終わりとならないように留意します。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	S-M社会生活能力検査やISSPなどのアセスメントツールを活用して計画作成を行なっています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	活動プログラムの原案を作成後、所内で必ず検討・確認を行う体制になっています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	固定化しないように話し合いを適宜行っています。	内容の充実に向けて、職員の力量向上に努めてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	集団活動プログラムについては、平日も含めて月間で予定組みをしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	支援開始前、終了後問わず、事細かく報告を行っています。特に重要な内容については「伝達ノート」に記載し、所定休日で不在の職員への周知・引継ぎにも心掛けています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	写真等も含めて記録を残すようにしています。	記録を活用しながら支援に連続性を持たせ、中長期的な目標を意識・設定して支援を行うことを目指してまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	2		受け入れのニーズが発生した場合は、適切に連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2		初等教育における高学年以上の利用者が通所しているため、就学前に関わっていた機関と連絡をとる機会がありません。今後、連絡をとる必要があると思われる事例があった場合は適宜対応してまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	2		今後、該当する事例が出てくるとと思われるため、必要な情報提供を行なってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	3		SDGs活動の一環として行うフードパントリーなどの地域交流イベントを通して障がいのない児童と活動する機会を設けているが、イベントのねらいが職員に更に浸透していくように努めてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3		活動内容を調査のうえ、職員に周知してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	「HUG」のサービス提供記録や送迎時における交信で、保護者との情報の共有を更に密接なものとしてまいります。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	半期に1回(年度2回)程度の頻度で保護者会を開催するようにしています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	保護者との連絡ツール「HUG」やにじいろアカデミー公式LINEを活用しています。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	0	毎月第4土曜日に、フードロスを目指して食品配布や地域交流を行うイベント(フードパントリー)に参加しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2		一部不足している内容については早急を確認し、職員及び保護者に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	法人内研修を受講し、人権意識に裏付けられた支援を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0		